

平成30年度アシヤアートプロジェクト 報告書

令和元年8月1日

芦屋市 企画部 政策推進課

1. イベント参加人数

参加者総計 延べ433名 “具体”認知度 63% (アンケート回答数174名のうち109名)

2. 各イベントの内容

(1) トークセッション00

テ ー マ	アートによってももの見方を変える方法				
内 容	アート入門編「なぜ私たちにはアートが必要なのか」				
講 師	ハナムラチカヒロ 氏				
定 員	30名 (※開催数を増やし定員60名に変更)				
応 募 数	68件 (倍率2.2倍)	参 加 者	86名	アンケート	51件
“具体”認知度	61% (30/49人)				
アンケート自由記入欄の内容		“具体”：0%, AAP：100%, 行政：0%, その他：0%			

(2) トークセッション01

テ ー マ	かつての芦屋の文化を語る				
内 容	「芦屋でうまれたアート” GUTAI”のいろは」				
講 師	河崎晃一 氏				
定 員	30名				
応 募 数	41件 (倍率1.3倍)	参 加 者	47名	アンケート	23件
“具体”認知度	95% (21/22人)				
アンケート自由記入欄の内容		“具体”：53.8%, AAP：23.2%, 行政：11.5%, その他：11.5%			

(3) トークセッション02

テ ー マ	いまの芦屋の文化を語る				
内 容	「パリ→芦屋→ニューヨークをつなぐもの」				
講 師	コシノヒロコ 氏				
定 員	80名 (※席数を増やし定員120名に変更)				
応 募 数	230件 (倍率2.8倍)	参 加 者	105名	アンケート	51件
“具体”認知度	48% (24/50人)				
アンケート自由記入欄の内容		“具体”：6.8%, AAP：89.7%, 行政：3.5%, その他：0%			

(4) 旧宮塚町住宅

テ ー マ	これからの芦屋の文化を語る				
内 容	別表のとおり				
講 師					
定 員					
応 募 数	105件 (倍率1.1倍)	参 加 者	別表のとおり	アンケート	—
“具体”認知度	集計データなし				
アンケート自由記入欄の内容		集計データなし			

＜別表＞旧宮塚町住宅のイベント詳細

内容	定員	参加者	講師等
【ワークショップ】子供のためのワークショップ「紙と遊ぶ」	30名	24名	講師：井須圭太郎氏，加藤瑞穂氏
【レクチャー】ミセスの為のアート講座「芦屋ブランドGとは」	15名	14名	講師：加藤義夫氏，聞き手：湯浅央子氏
【トークセッション03】これからの芦屋の文化を語る「精神が自由なことから」	15名	15名	司会：加藤義夫氏，パネリスト：加藤瑞穂氏，藤野一夫氏，ハナムラチカヒロ氏，岡登志子氏
【レクチャー】「次世代にむけて，美術と子供をめぐる一考察」	15名	17名	講師：山本淳夫氏，司会：加藤義夫氏
【レクチャー】高校生の為のアート講座「具体のDNA」	15名	20名	講師：今井祝雄氏，司会：岡登志子氏，桑野聖子氏
【トークセッション03】「精神の自由」を問う，子供たちと美術・音楽教育をめぐる	15名	15名	パネリスト：小石かつら氏，湯浅央子氏，藤野一夫氏，ハナムラチカヒロ氏，加藤義夫氏，岡登志子氏
【パフォーマンス】堀尾貞治エスキースから「あたりまえのこと，空気を動かす」「空気を切る」	—	90名	ダンス：垣尾優氏，糸瀬公二氏，岡登志子氏

3. “具体”に関するご意見（アンケート自由記入欄より抜粋）

(1) “具体”への所感

- ・世界に影響をあたえる団体があったことを知り少しほこらしく感じました。
- ・自由の本当の意味を具体は表現していたことを再認識できました。素敵な出会いでした。
- ・自由で型破りなところが楽しくてわくわくする。その温度，現象，存在全てが日本の誇りです。
- ・具体の事は今の小・中学生は美術や地域教育・美術鑑賞の授業や美博への遠足等で学んでいる。
- ・日本のオリジナルの美術が芦屋から出た事に強い印象を受けます。
- ・日本では取り上げられず残念である。
- ・芦屋市民が地元で生まれた具体にそれほど興味を持たない事はとても寂しい。
- ・広報活動を活性化すべきではないか。
- ・いまの20代前半で美術を専門に勉強する学生以外に具体を知る人はそうそう居ないと思う。

(2) 行政への所感

- ・芦屋発の芸術活動は下火になった印象。過去程の文化発信がないと感じている。
- ・多くの文化的資産があり，市民の関心も高いと思われる。しかしその関心の高さは，芦屋市の文化的状況を高める事に結びついてないと感じる。

(3) 今後の期待

- ・知らない人は特に具体を通し長期的スパンで具体をどう後世に伝えていくか。
- ・熱心に取り組んでいると思う。さらに力を入れていただきたい。芦屋美術館にもっと色々な作品の展示をしてほしい。芦屋の文化はもっと高めてほしい。素晴らしい建築物があるのもっとアピールしてほ

しいと思う。

4. 総括

参加者の4割程度は、“具体”の名前を知らなかった。また、名前は知っていても活動内容までは知らない方も多かった。

“具体”に対する評価としては、すでに“具体”の活動内容を知っている方は、芦屋から“具体”が出たことを誇らしく感じており、また、アートに興味のある方で“具体”の活動内容をはじめて知った方は、非常に高い評価をされていた。

このように、アートに興味のある方に“具体”の活動内容を知っていただくことが、“具体”の良さを伝える第一歩となる。そのため、アートにすでに興味のある方へ訴求することと、アートに興味を持つ方を増やすことが重要と考える。

今後は、今回のアシヤアートプロジェクトのように、アートに関連するイベントの参加者が“具体”の活動内容を知るように機会を作っていく。“具体”にだけフォーカスした広報やイベントを行うのではなく、様々な文化イベントの来場者や美術博物館の来館者が“具体”を知る機会が増えるように取り組んでいく。

以 上

アシアアートプロジェクト AAP アンケート

トークセッション 回 年 月 日

1. お客様の性別、年齢、お住まいについてお聞かせ下さい。

性別 男性 女性

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

お住まい 芦屋市 芦屋市以外兵庫県内 その他の都道府県()

2. 芦屋市美術博物館・谷崎潤一郎記念館にいらっしゃったことはありますか??

a. はい b. いいえ

a. はい とお答えの方 2018年に何回くらいいらっしゃいましたか?()回

3. 上記以外の美術館や芸術鑑賞に2018年にはいらっしゃいましたか?

a. はい b. いいえ

a. はい とお答えの方 どちらにいらっしゃいましたか?()

4. 芦屋市内の以下の建造物へいらっしゃったことはありますか?

- a. 旧山邑家住宅(ヨドコウ迎賓館) <国指定重要文化財>
- b. 旧芦屋郵便局電話事務室(芦屋モノリス) <国登録有形文化財>
- c. 旧松山家住宅松濤館(芦屋市立図書館打出分室) <国登録有形文化財>
- d. 芦屋仏教会館 <国登録有形文化財・芦屋市景観重要建造物>
- e. カトリック芦屋教会 <芦屋市景観重要建造物>
- f. 芦屋市民センター／ルナ・ホール

5. 具体美術(G U T A I)について御存知でしたか?

a. はい b. いいえ

a. はい とお答えの方 どのような印象をお持ちでしたか?

6. 現在の芦屋市の文化的状況についてどう思われますか?ご意見をお聞かせください。

うらに続く

7. 今日のお話の内容・アートについての印象・ご意見や感想などをお聞かせください。

8. 今後もこのようなAAP主催のアートイベントを定期的な開催に参加したいと思いますか？

- a. はい b. いいえ

9. AAPをどこでお知りになりましたか？該当する項目全てに○をお付けください。

A. チラシ・パンフレットなど(郵送/設置)

- a. 芦屋市広報物 b. AAPチラシ c. 芦屋市内の公共機関 d. 神戸アートマルシェでの配布物
e. 六甲ミーツアート芸術散歩2018 f. 美術館・ギャラリー等 g. その他()

B. 下記のWEBサイトで見て知った。

- a. フェイスブック b. インスタグラム c. アシヤアートプロジェクトホームページ
d. 芦屋市ホームページ e. その他()

C. 下記のメディアで見て知った。

- a. ()新聞 b. アートコレクターズ c. ラジオ()
d. その他()

D. その他

()で知った。

AAPは現在、活動にご協力いただけるボランティアを募集しております。
もし、ご興味がおありの方は事務局よりご連絡させていただきますので、下記にご記入ください。

次回『アシヤアートプロジェクト』のご案内をお送りさせていただきますので、ご希望の方は以下をご記入下さい。

お名前

Eメール

ご住所 〒

お客様の個人情報は、アシヤアートプロジェクト実行委員会事務局にて厳重に管理し、
アシヤアートプロジェクトに関するご案内等にのみ使用させていただきます。

アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。